

地域密着型金融推進の取組状況

(平成27年度上半期)

平成27年11月

山梨中央銀行

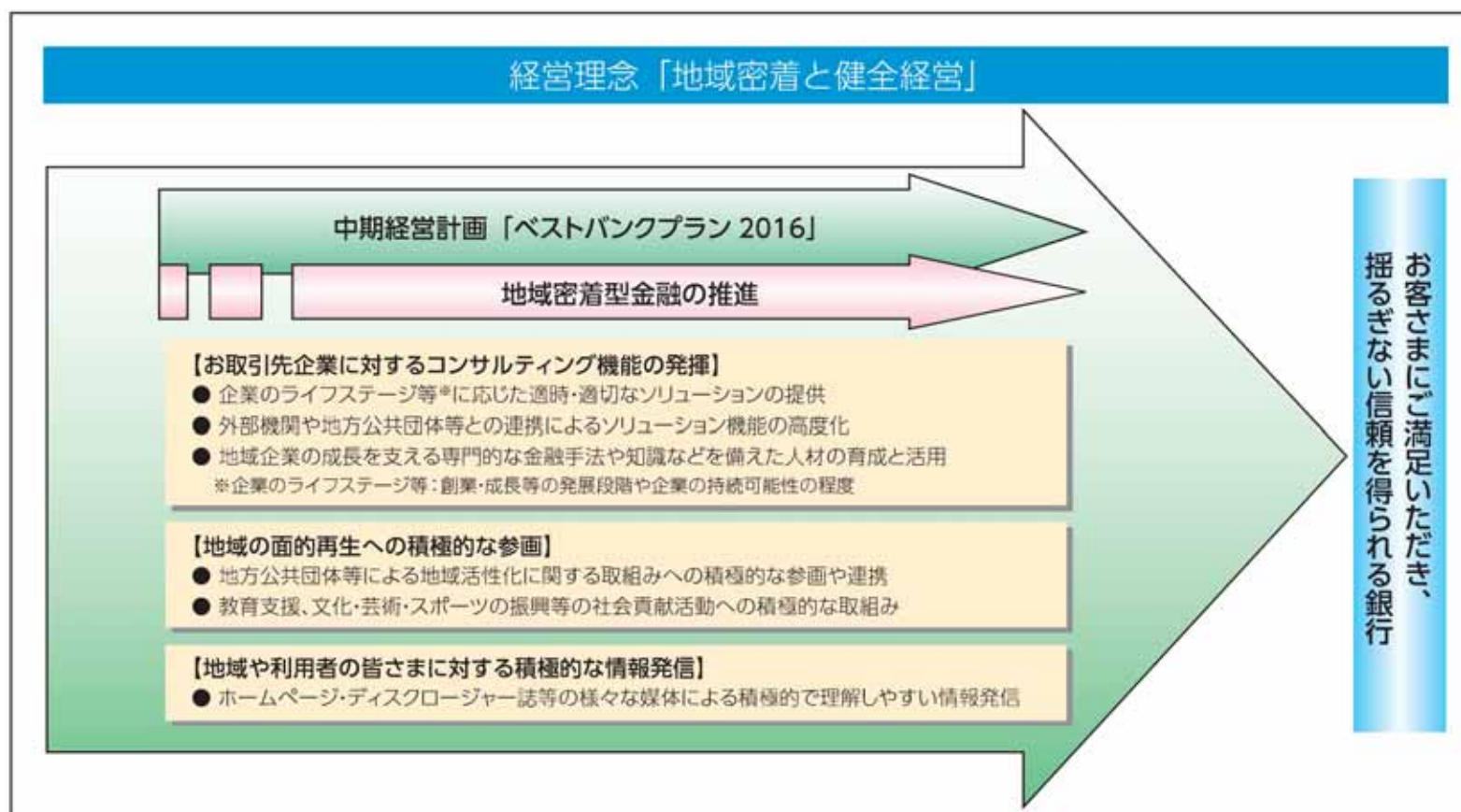
目 次

1. 地域密着型金融推進への取組みについて	1
2. 具体的な取組状況について	
(1) お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮	2
取組事例	4
(2) 地域の面的再生への積極的な参画	7
取組事例	8
(3) 地域や利用者の皆さまに対する積極的な情報発信	9

1. 地域密着型金融推進への取組みについて

地域密着型金融の推進は、当行にとって恒久的な課題であり、現在取り組んでおります中期経営計画「ベストバンクプラン 2016」（平成25年4月～平成28年3月）におきましても、その精神や考え方を踏襲しております。したがって、当行ではこの中期経営計画の各種施策を確実に展開していくことにより、地域密着型金融を推進しております。

これらの取組みについて地域のみなさまにご理解いただくため、平成27年度上半期の活動状況及び成果についてとりまとめました。



2. 具体的な取組状況について

(1) お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

重点事項	中期経営計画3年間の取組目標	平成27年度上半期の取組状況
① 企業のライフステージ等に応じた適時・適切なソリューションの提供	○地域産業の育成支援 ○成長支援への取組み強化	○当行では、「地域産業の発展に資する金融仲介機能の発揮に努めることで、地域経済の活性化を図る」との方針のもと、お取引先企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価する「事業性評価」に基づき、最適なソリューションを提供していくための行内態勢を整備し、地域産業の育成や成長支援についての取組みを強化しました。 ○経営者による個人保証に関し、平成25年12月に公表された「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえた適切な対応に努めました。 中小企業等のお客さまへの対応実績 経営者保証に依存しない新規融資の件数・割合：498件・15.22% 既存の保証債務金額を減額した件数：58件 既存の保証契約を解除した件数：12件 ○成長分野における創業や企業の参入を促進することで県内経済の活性化を図ることを目的として、山梨県、県内民間企業、商工会議所とともに設立した「やまなし新事業応援投資事業有限責任組合」により、中小企業等に対する投資や育成支援に努めました。 ○6次産業化を推進し、農林漁業者の所得向上や地域雇用の確保につなげ、山梨県経済の活性化を図ることを目的として、株式会社農林漁業成長産業化支援機構とともに設立した「やまなし6次産業化応援投資事業有限責任組合」の活用に向け、6次産業化を目指す企業への情報提供を行いました。
	○本部専担部署の推進サポートによる業種別取引推進の強化	○営業店支援や個別案件への対応を行う「法人ソリューション室」を設置し、業種・分野別の専担者を配置する中で、きめ細やかなソリューション営業を展開する態勢を整備しました。 ○医療・介護分野のお客さまを対象としたセミナーの開催や本部専担者の訪問による情報提供を継続的に実施したほか、当行グループ会社や外部専門家と連携し、お客さまの様々なご相談への対応を積極的に実施しました。 ○太陽光・小水力等の発電事業、エネルギー管理システム、省エネ、節電、環境負荷低減マネジメント等に関心を持つお客さまに対し、セミナーの開催や本部専担者による経営アドバイス、各種設備事業者やコンサルタントとのビジネスマッチングを積極的に展開しました。 ○幅広い業種が関係するツーリズム関連産業への支援を強化するため、「ツーリズム支援デスク」を設置いたしました。支援の一環として、「観光アドバイザー」の招請、SNSによるツーリズム関連情報の発信を開始しました。

重点事項	中期経営計画3年間の取組目標	平成27年度上半期の取組状況
① 企業のライフステージ等に応じた適時・適切なソリューションの提供 (前頁の続き)	○本部支援メニューの拡充とソリューション営業の強化 ○お取引先のアジアを中心とした海外展開に対する支援態勢の強化 ○経営改善支援への取組み強化	○医療・介護、農・食、環境、観光といった分野別の本部支援メニューに加え、補助金等の公的支援策についての支援を強化しました。 ○既に業務提携しているアジア5か国6行の海外現地金融機関や、ジェットロをはじめとする海外展開支援機関を活用し、お客さまの海外展開支援に積極的に取り組みました。 海外展開支援実績：83件（平成25年度：80件、平成26年度：142件） ○お客さまの成長要素・再建要素等のポテンシャルや地域経済への影響度合に基づき、支援の強弱を明確に区分するとともに、経営改善支援のステージを4段階（①成長要素・再建要素の検証期間、②計画策定支援期間、③計画実行支援期間、④計画再策定・見直し期間）に分け、各ステージに応じた活動状況の進捗管理により、経営改善支援の実効性向上を図る態勢を整備しました。 ○195社のお客さまの経営改善支援に取り組み、そのうち154社については経営改善計画の策定支援の段階から、計画の実行支援の段階に移行しております。また、経営改善支援取り組み先のうち3社に業績改善が認められました。 ○経営改善に取り組むお客さまを積極的に支援する融資商品である山梨中銀「経営支援ローン『実行力』」の取組み強化により、前向きな経営改善支援に努めました。
② 外部機関や地方公共団体等との連携によるソリューション機能の高度化	○外部機関や専門家との連携による企業支援の取組み強化 ○山梨中銀経営コンサルティング(株)等と連携した事業承継に関するサービスの提供とコンサルティング機能の強化	○中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律に基づく経営革新等支援機関に関連した各種制度を通じ、外部機関や専門家との連携による企業支援を強化しました。 ○本部に配置した資産承継アドバイザーおよび営業店が、山梨中銀経営コンサルティング(株)や税理士法人等の外部専門機関と連携して、お客さまの事業承継・相続対策支援に積極的に取り組みました。 ○お客さまのご相談にお応えするほか、外部提携機関との連携による「事業承継・M&Aセミナー」や、「相続にかかる個別相談会」を無料で開催しました。 事業承継・相続対策支援サービス取扱実績：63件
③ 地域企業の成長を支える専門的な金融手法や知識などを備えた人材の育成と活用	○「融資エキスパート養成研修」などの行内研修や外部機関への研修派遣による専門性ある人材の育成	○多様化するお客さまのニーズにお応えし、事業価値の向上に資する融資ノウハウの共有を目的として「融資創造セミナー」を開催しました。 ○お客さまの成長を支え、最適なソリューション提供のできる行員育成を目的として「融資エキスパート養成研修」などの行内研修を実施したほか、全国地方銀行協会主催の「事業性評価研究講座」、「企業再生実務講座」などの外部研修へ行員を派遣しました。

取組事例

● 山梨中銀「地域活力強化ファンド」の取扱い

医療・介護、環境、農業、観光、モノづくりなどの成長が見込まれる分野および地場産業のお客さまへの支援の充実を図るため、山梨中銀「地域活力強化ファンド」を取り扱いました。

【成長分野向け融資取扱実績 193件／3,856百万円】



● 「アグリビジネススクール 2015」の開催

経営感覚と起業家精神をもって新しいアグリビジネスや6次産業化に挑戦する農業経営者の育成を目的として、農業に関する流通・生産管理・マーケティングなどのマネジメント知識や経営戦略の策定手法などを習得するための経営講座「アグリビジネススクール2015」を開催しております（H27/4～H28/3）。



【「アグリビジネススクール2015」の開催模様】

取組事例

● 「やまなし食のマッチングフェア2015 in TOKYO」の開催

農・食品関連事業者のみなさまに、県内外の仕入れ企業のみなさまとの商談機会をご提供することで販路開拓・拡大を支援し、地域経済の活性化を図るため、7月30日（木）に京王プラザホテル（新宿）にて、展示・商談会「やまなし食のマッチングフェア2015 in TOKYO」を開催いたしました。

「やまなし食のマッチングフェア」は10回目の開催になりますが、今年の総来場者数は約1,000名、商談件数は2,200件を数え、事業者のみなさまの販路拡大、ネットワーク拡大支援につながっております。



【「やまなし食のマッチングフェア2015 in TOKYO」の開催模様】

● 地域活性化イベントへの参加

こどもの育ちを応援し、社会全体で子育て応援機運を高めることを目的とした「やまなしこどもの城フェスタ2015」に協力しました。

当行は8月22日（土）～23日（日）の2日間、来場者が会場内で使用する模擬紙幣の両替所として「こども銀行」を出展しました。来場した子どもたちに両替体験をしていただくことで、「銀行業」や「おかね」についての関心を高め、地域での金融教育の推進に取り組みました。



【「やまなしこどもの城フェスタ2015」の開催模様】

取組事例

● 「やまなし食の輸出商談会 in バンコク」の開催

タイへの販路拡大を求める県内の食品関連事業者のお客さま7社が出展するB to Bの輸出商談会を、昨年に引き続いて5月26日（火）にタイ・バンコクにおいて開催しました。昨年を大幅に上回る227社360名のバイヤーが来場されたことにより、多くの商談が成約につながり、輸出が実現しました。



【「やまなし食の輸出商談会inバンコク」商談会場の様子】

● 地場産業を中心とした外部企業への行員派遣

当行では、地場産業の育成を図るため、平成24年度から毎年10名程度（5年間で50名程度）の行員を、地場産業を中心とした山梨県内の企業に派遣しております。

今年度も、宝飾、ワイン、織物等の地場産業を中心とした企業10社に各1名を派遣しており、派遣された行員は実際にその業務を経験・体験することで、各々の業界の特性やノウハウの習得に努めました。



【外部企業で働く当行行員】

(2) 地域の面的再生への積極的な参画

重点事項	中期経営計画3年間の取組目標	平成27年度上半期の取組状況
①地方公共団体等による地域活性化に関する取組みへの積極的な参画や連携	○地域連携の充実・拡大 ○産学官金連携による地域産業の育成支援	○関東経済産業局が実施する「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」や山梨県が実施する「中小企業サポート連携拠点事業」へ参画し、中小企業支援ネットワークの構築など、地域連携の一層の充実に取り組みました。
	○地域活性化プロジェクト等地域づくりへの参画	○地域の抱える諸課題解決に向け「やまなしコミュニティビジネス推進協議会」に参画しました。 ○甲府市中心市街地活性化基本計画の実践に取り組む「合同会社まちづくり甲府」に行員を派遣し、平成26年度に策定された甲府市中心市街地活性化基本計画の推進に向けて諸課題の解決に取り組みました。 ○文部科学省の助成金事業「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」として採択された山梨大学および山梨県立大学のそれぞれの事業に連携機関として参画し、大学の資産（知識・学生）等を活用した地域課題の解決等に取り組み、地域活性化を図っています。 ○山梨大学を責任大学とした県内外12大学の連携体が実施する文部科学省の助成金事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」に、事業協働機関として参画しております。
	○行政施策に連動した地域経済活性化支援	○山梨県と締結した定住人口確保に関する協定に基づき、「やまなし暮らし支援センター」と連携し、移住希望者に対し積極的な支援を行いました。 ○山梨県が策定作業を進める「外国人観光客受入体制の整備計画」に協力するため、富士北麓地域のクレジットカード加盟店増加に向けた支援として、県、地元経済団体と連携し、クレジット端末の無償提供等を行いました。
②教育支援、文化・芸術・スポーツの振興等の社会的貢献活動への積極的な取組み	○教育支援への取組み ○文化・芸術・スポーツ等の振興への取組み	○巨摩高校・山梨大学において金融講座を実施しました。 ○小中学生、高校生、大学生の校外学習や職場見学の受入れを実施しました。 ○投資信託運用報告会、休日資産運用セミナーを開催し、投資環境やNISAに関する情報提供を行いました。 ○小学校低学年を対象とした「山梨中銀おかねの学校」を開催しました。 ○当行金融資料館において企画展「世界のおもしろ貨幣展」、「夏休み体験ツアー／お金の物知り博士になろう!」を開催しました。 ○「第20回山梨中央銀行杯山梨県ママさんバレーボール大会」を開催しました。 ○当行女子バレーボール部によるバレーボール教室を20回開催しました。

取組事例

● 「地方創生」への取組み

当行では「地方創生」に向けた取組みの実効性・確実性を高めるための態勢整備として、「地方創生委員会」を設置しました。また、営業統括部内に「公務・地方創生室」を設置しました。

各地方公共団体が行う「地方版総合戦略」策定に対し、策定組織への参画のほか、実効性の高い戦略とするための施策提案を積極的に行い、地方公共団体との協力・連携に取り組んでおります。

当行は地方公共団体および専門機関等と連携し、「地方創生」への取組みを強化してまいります。



【地方公共団体向け提案書】

● 山梨中銀金融資料館における文化イベントの開催

山梨中銀金融資料館では、当行をはじめとする県内金融史に関する文献や古代から現代に至る貨幣など貴重な資料を豊富に展示しております。

当行では、金融資料館へご来館いただいたお客さまを対象とした文化イベント「世界のおもしろ貨幣展」を開催するとともに、山梨県内の小中学校の校外学習の場として金融資料館を提供するなど、貴重な文献や資料をご覧いただくことを通じて、ご来館の皆さまに山梨県の歴史やお金についての理解を深めていただきました。



【文化イベント】

(3) 地域や利用者の皆さまに対する積極的な情報発信

ホームページ

当行の「地域密着型金融推進への取組み」状況について、地域の利用者の皆さまに広く理解していただくため、当行ホームページに「地域密着型金融推進への取組み」の項目を設け、積極的に情報発信しております。

地域の利用者の皆さまに興味や関心を持っていただけるよう、具体的で分かりやすい内容となるよう努めてまいります。



ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌

半期毎に発行するディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌では、当行が取り組んだ活動の現状と成果について、地域の利用者の皆さまにお伝えしたい重要な項目を選定し、情報を掲載しております。

地域の利用者の皆さまが読みやすく、理解しやすい冊子となるよう努めてまいります。

山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便！

当行は、大学等の研究機関が保有する技術シーズと企業ニーズを結び付け、新技術の開発や新規事業の創出を支援する産学官連携活動に取り組んでおります。その一環として、山梨大学に在籍する教授の研究内容を紹介した「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便！」を発行しております。

平成18年6月の創刊以降、71件のレポートを発行しました。



山梨学院大学「経営ナビゲーション」

当行は、大学等の研究機関が保有する知的資産とビジネスの現場とのリエゾン（橋渡し）により、企業経営のイノベーションや事業機会の創出を支援する活動に積極的に取り組んでおります。その一環として、山梨学院大学に在籍する教授の研究内容を紹介した山梨学院大学『「経営ナビゲーション」～ビジネス革新への航海図』を発行しております。

平成23年3月の創刊以降、17件のレポートを発行しました。